

履修方法及び修了要件

《履修方法》

1. 授業時間と単位

特論は15時間履修で1単位、演習は30時間履修で1単位、実習、実験、特別研究は45時間履修で1単位とする。

2. 14条特例による教育方法の実施

大学院設置基準第14条による履修生（社会人）は、昼間も履修することができる。

3. 履修登録

- 年度毎の指定の期日までに、主任指導教員の履修指導に従い、学務支援システムを使用して履修登録を行うこと。
- 授業内容をシラバスで各自確認し、主任指導教員の履修指導を受けること。
- 履修する科目を決めたら科目責任者の教員へ連絡を入れること。また、授業の進め方や授業日時等について不明なときは、必ず事前に担当教員に確認すること。なお、担当教員への連絡方法はシラバス等で確認すること。
- 履修登録をしたら登録した履修登録内容の画面を印刷し、指導教員へ提出すること。

《単位認定と修了認定》

博士・博士後期課程

大学院委員会で単位修得状況の確認後の評価を、学位論文審査要旨における各科目最終試験の結果とする。大学院の修了認定は、論文提出と合わせ、研究科委員会で行う。

1. 医学専攻博士課程（腫瘍専門医・革新的未来医療創造・障害児医療学コースを除く）

修了要件は、次の①～⑤の要件を全て満たすこと。

①当該課程に4年以上在学すること。（ただし、長期履修学生にあつては別に定めるとおりとする。）

②次の(1)～(3)に従って単位を修得すること。

(1) 学生は、下表に従って単位を修得する。

主科目 (20単位以上)	主科目1 (12単位以上)	*特論科目8単位以上、演習科目4単位以上を修得すること。 *志望部門の特論及び演習を修得すること。
	主科目2 (8単位以上)	*特論科目4単位以上、演習科目4単位以上を修得すること。 *主科目1と異なる医学群から履修すること。
副科目 (4単位以上)	*特論科目2単位以上、演習科目2単位以上を修得すること。 *主科目1と同じ領域、または腫瘍専門医コース授業科目から選択すること。 *腫瘍専門医コース授業科目について、トレーニングコース科目は演習2単位として取り扱うものとする。	
選択科目 (6単位以上)	*6単位以上を医学系研究科共通選択授業科目（7つの教育コース）、または腫瘍専門医コース授業科目から履修すること。 *腫瘍専門医コース授業科目については2単位を越えないものとする。	

医学群、領域は科目表を参照のこと

(2) 特論は、学会参加によって履修することができる。学会（地方会を含む）出席1回につき1単位（15時間）とみなす。学会発表を行った場合は、演題1題につき、2単位（30時間）とみなす。ただし、この単位は2単位を超えない。また、科目責任者が講義の一部として案内した場合、大学院公開セミナーを特論の一部とみなすことができる。このとき出席した大学院公開セミナーは③の受講に含めることができる。

(3) 演習の履修は各部門で行われる抄読会、検討会及び病理所見会によって替えることができる。この場合、通算15回の出席で1単位とみなす。

- ③大学院公開セミナーを15回以上受講すること。
大学院公開セミナー受講票に担当教員の認印をもらい、随時、受講票を教務係に提出すること。
受講票は鳥取大学医学部HP（トップ>大学院生の方へ>授業・履修>大学院公開セミナー）から各自印刷して使用すること。
- ④所定の研究倫理教育を受講すること。
- ⑤学位論文（博士）の審査及び最終試験に合格すること。

2. 医学専攻博士課程（腫瘍専門医コース）

修了要件は、次の①～④の要件を全て満たすこと。

- ①当該課程に4年以上在学すること。（ただし、長期履修学生にあつては別に定めるとおりとする。）
- ②別表1-2に従って単位を修得すること。
- ③所定の研究倫理教育を受講すること。
- ④学位論文（博士）の審査及び最終試験に合格すること。

3. 医学専攻博士課程（革新的未来医療創造コース）

修了要件は、次の①～④の要件を全て満たすこと。

- ①当該課程に4年以上在学すること。（ただし、長期履修学生にあつては別に定めるとおりとする。）
- ②別表1-3に従って単位を修得すること。
- ③所定の研究倫理教育を受講すること。
- ④学位論文（博士）の審査及び最終試験に合格すること。

4. 医学専攻博士課程（障害児医療学コース）

修了要件は、次の①～④の要件を全て満たすこと。

- ①当該課程に4年以上在学すること。（ただし、長期履修学生にあつては別に定めるとおりとする。）
- ②別表1-4に従って単位を修得すること。
- ③所定の研究倫理教育を受講すること。
- ④学位論文（博士）の審査及び最終試験に合格すること。

5. 医科学専攻博士後期課程

修了要件は、次の①～④の要件を全て満たすこと。

- ①当該課程に3年以上在学すること。（ただし、長期履修学生にあつては別に定めるとおりとする。）
- ②別表2に従って単位を修得すること。
- ③所定の研究倫理教育を受講すること。
- ④学位論文（博士）の審査及び最終試験に合格すること。

博士前期・修士課程

単位修得状況と審査委員会の報告に基づき、学位授与の判定を大学院委員会で行う。

1. 医科学専攻博士前期課程

修了要件は、次の①～④の要件を全て満たすこと。

- ①当該課程に2年以上在学すること。（ただし、長期履修学生にあつては別に定めるとおりとする。）
- ②別表3に従って単位を修得すること。
- ③所定の研究倫理教育を受講すること。
- ④学位論文（修士）の審査及び最終試験に合格すること。

2. 臨床心理学専攻修士課程

修了要件は、次の①～④の要件を全て満たすこと。

- ①当該課程に2年以上在学すること。（ただし、長期履修学生にあつては別に定めるとおりとする。）
- ②別表4に従って単位を修得すること。
- ③所定の研究倫理教育を受講すること。
- ④学位論文（修士）の審査及び最終試験に合格すること。

《関係諸規則》

以下の規則はHPに掲載しています。

◇鳥取大学大学院学則

◇鳥取大学学位規則

◆鳥取大学大学院医学系研究科規程

◆鳥取大学大学院医学系研究科博士課程の学位に関する内規

◆鳥取大学大学院医学系研究科博士後期課程の学位に関する内規

◆鳥取大学大学院医学系研究科博士前期及び修士課程の学位論文審査等取扱要項

◇：鳥取大学HP>キャンパスライフ>学生生活での留意事項>鳥取大学関係諸規則

◆：鳥取大学医学部HP>大学院生の方へ>学位申請手続>学位申請の手続要領等>学位内規等

令和4年度4月入学者

医学専攻博士課程 授業科目表

領域	部門名	医学群	授業科目	単位数		
				主科目1	主科目2	副科目
形態・機能制御医学	解剖学	基礎	ゾノム形態学特論	8	4	2
			ゾノム形態学演習	4	4	2
			人体形態学特論	8	4	2
			人体形態学演習	4	4	2
	生化学	基礎	分子代謝制御学特論	8	4	2
			分子代謝制御学演習	4	4	2
	薬理学・薬物療法学(基礎薬理学)	基礎	薬物作用学特論	8	4	2
			薬物作用学演習	4	4	2
	皮膚科学	臨床	皮膚病態学特論	8	4	2
			皮膚病態学演習	4	4	2
整形外科学	臨床	運動器医学特論	8	4	2	
		運動器医学演習	4	4	2	
形成外科	臨床	形成外科学特論	8	4	2	
		形成外科学演習	4	4	2	
病態解析・制御医学	薬理学・薬物療法学(臨床薬理学)	臨床	薬物治療学特論	8	4	2
			薬物治療学演習	4	4	2
	病理学	基礎	病理学特論	8	4	2
			病理学演習	4	4	2
	消化器・腎臓内科学	臨床	機能病態内科学特論	8	4	2
			機能病態内科学演習	4	4	2
	画像診断治療学	臨床	放射線科学特論	8	4	2
			放射線科学演習	4	4	2
	臨床検査医学	臨床	臨床検査医学特論	8	4	2
			臨床検査医学演習	4	4	2
	消化器・小児外科学	臨床	外科腫瘍学特論	8	4	2
			外科腫瘍学演習	4	4	2
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	臨床	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	8	4	2
			耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	4	4	2
	口腔顎顔面外科学	臨床	口腔顎顔面病態外科学特論	8	4	2
			口腔顎顔面病態外科学演習	4	4	2
呼吸器・乳腺内分泌外科学	臨床	胸部外科学特論	8	4	2	
		胸部外科学演習	4	4	2	
薬剤部	臨床	医療薬学特論	8	4	2	
		医療薬学演習	4	4	2	
血液内科	臨床	血液内科学特論	8	4	2	
		血液内科学演習	4	4	2	
社会環境情報医学	環境予防医学	基礎	環境予防医学特論	8	4	2
			環境予防医学演習	4	4	2
	健康政策医学	基礎	公衆衛生学特論	8	4	2
			公衆衛生学演習	4	4	2
	法医学	基礎	法医学特論	8	4	2
			法医学演習	4	4	2
	医学教育学	基礎	医学教育学特論	8	4	2
			医学教育学演習	4	4	2
	健康運動科学	基礎	病態運動学特論	8	4	2
			病態運動学演習	4	4	2
救急・災害医学	臨床	救急・災害医学特論	8	4	2	
		救急・災害医学演習	4	4	2	
医療情報部	臨床	医療情報学特論	8	4	2	
		医療情報学演習	4	4	2	
地域医療学	基礎	地域医療学特論	8	4	2	
		地域医療学演習	4	4	2	
発達加齢適応医学	適応生理学	基礎	適応生理学特論	8	4	2
			適応生理学演習	4	4	2
	循環器・内分泌代謝内科学	臨床	循環器・内分泌代謝内科学特論	8	4	2
			循環器・内分泌代謝内科学演習	4	4	2
	周産期・小児医学	臨床	発生・発達解析学特論	8	4	2
			発生・発達解析学演習	4	4	2
	心臓血管外科学	臨床	心臓血管外科学特論	8	4	2
			心臓血管外科学演習	4	4	2
産科婦人科学	臨床	生殖機能医学特論	8	4	2	
		生殖機能医学演習	4	4	2	
腎泌尿器学	臨床	腎泌尿器科学特論	8	4	2	
		腎泌尿器科学演習	4	4	2	
麻酔・集中治療医学	臨床	麻酔・集中治療医学特論	8	4	2	
		麻酔・集中治療医学演習	4	4	2	
生体防御医学	細菌学	基礎	感染症病態学特論	8	4	2
			感染症病態学演習	4	4	2
	ウイルス学	基礎	ウイルス学特論	8	4	2
			ウイルス学演習	4	4	2
	医動物学	基礎	分子医動物学特論	8	4	2
			分子医動物学演習	4	4	2
	呼吸器・膠原病内科学	臨床	分子制御内科学特論	8	4	2
分子制御内科学演習			4	4	2	
視覚病態学	臨床	視覚病態学特論	8	4	2	
		視覚病態学演習	4	4	2	
感染症内科	臨床	臨床感染症学特論	8	4	2	
		臨床感染症学演習	4	4	2	
脳神経医学	統合生理学	基礎	統合生理学特論	8	4	2
			統合生理学演習	4	4	2
	精神行動医学	臨床	精神行動医学特論	8	4	2
			精神行動医学演習	4	4	2
	脳神経内科学	臨床	神経内科学特論	8	4	2
			神経内科学演習	4	4	2
	神経病理学	基礎	脳神経病理学特論	8	4	2
脳神経病理学演習			4	4	2	
脳神経外科学	臨床	脳神経外科学特論	8	4	2	
		脳神経外科学演習	4	4	2	
脳神経小児科学	臨床	小児神経学特論	8	4	2	
		小児神経学演習	4	4	2	

令和4年度4月入学者

医学専攻博士課程(腫瘍専門医コース) 課程表				
科目区分	授業科目の名称		単位数	備考
系統講義コース科目	必修	臨床腫瘍学総論	2	
	選択	ゲノム形態学特論	2	
		薬物作用学特論	2	
		薬物治療学特論	2	
		病理学特論	2	
		放射線科学特論	2	
		外科腫瘍学特論	2	
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	2	
		口腔顎顔面病態外科学特論	2	
		生殖機能医学特論	2	
		腎泌尿器科学特論	2	
		麻酔・集中治療医学特論	2	
		分子制御内科学特論	2	
		脳神経外科学特論	2	
血液学特論	2			
小計		30	6単位以上修得すること	
トレーニングコース科目	必修	特別研究	10	
	選択	化学療法トレーニング	6	
		放射線治療トレーニング	6	
		緩和ケアトレーニング	6	
		血液腫瘍トレーニング	6	
		呼吸器内科トレーニング	6	
		消化器外科トレーニング	6	
		消化器内科トレーニング	6	
		呼吸器外科トレーニング	6	
		乳腺・内分泌外科トレーニング	6	
		泌尿器腫瘍トレーニング	6	
		頭頸部外科トレーニング	6	
		婦人科腫瘍トレーニング	6	
		小児腫瘍トレーニング	6	
小計		88	22単位以上修得すること	
コアードスパン科目		交流セミナー	2	
	選択	がんプロ合同セミナー	2	※令和4年度は不開講
		国際学会発表	1	
	小計		5	2単位以上修得すること
合計			123	30単位以上修得すること

※系統講義コース科目の特論は、学会参加によって履修することができる。学会（地方会を含む）出席1回につき1単位（15時間）とみなす。学会発表を行った場合は、演題1題につき、2単位（30時間）とみなす。ただし、この単位は2単位を越えない。

※臨床腫瘍学総論、がんプロ合同セミナーについては、その一部をeラーニングの形態により、補完的に受講することが可能。

令和4年度4月入学者

医学専攻博士課程(障害児医療学コース) 課程表				
科目区分	授業科目の名称		単位数	備考
講 義 科 目	必修	小児在宅医学特論基礎Ⅰ	2	
		小児在宅医学特論基礎Ⅱ	2	
		小児在宅医学特論応用	2	
		代謝学特論	1	
		脳形成異常特論	1	
		コミュニケーション特論	1	
	選択	小児神経学特論	4	
		小児発達学	2	
		重症児呼吸器病態学特論	2	
		重症児循環器病態学特論	2	
		重症児腎泌尿器科学特論	2	
		発生・発達解析学特論	8	
		遺伝子診断学	1	
		代謝・情報系クラスター 脳・神経代謝機能学	1	
		先天代謝異常症と遺伝カウンセリング	1	
	先天代謝異常症と新生児マススクリーニング	1		
小計		33	9単位以上修得すること	
演 習 科 目	必修	実践的小児神経学演習	1	
		小児神経学トレーニング	4	
	選択	発生・発達解析学演習	4	
		小計		9
実 習 科 目	必修	在宅人工換気実習	1	
	小計		1	1単位修得すること
特 別 研 究	必修	特別研究	10	
	小計		10	10単位修得すること
合計			53	30単位以上修得すること

医科学専攻博士後期課程 課程表											
科目区分	授業科目の名称		単位数						備考		
			1年次		2年次		3年次				
			前	後	前	後	前	後			
教 育 基 礎 的 目 的	必修	医科学研究特論	1								
		◎ 生命・医療倫理学特論	1								
		◎ 高次基盤医学特論	1								
	小計		3	0	0	0	0	0	0	3単位修得すること	
ス ペ シ ャ リ ス ト 教 育 科 目	医 学	選択	知財戦略特論Ⅱ	2							
		知財戦略演習Ⅱ	1								
		分子応答制御学特論Ⅰ	2								
		分子応答制御学演習Ⅰ	1								
		感染防御機構学特論Ⅰ	2								
		感染防御機構学演習Ⅰ	1								
		高次発生生物学特論Ⅰ	2								
		高次発生生物学演習Ⅰ	1								
		先端腫瘍学特論Ⅰ	2								
		先端腫瘍学演習Ⅰ	1								
	行動神経科学特論	2									
	行動神経科学演習	1									
	遺伝子・染色体機能医工学特論	2									
	遺伝子・染色体機能医工学演習	1									
	分子医学特論	2									
	分子医学演習	1									
	腫瘍生物学特論	2									
	腫瘍生物学演習	1									
	循環再生医学特論	2									
	循環再生医学演習	1									
先進保健学特論	2										
小計		32	0	0	0	0	0	0	博士(医科学)の学位を取得するためには、2単位以上修得すること		
保 健 学	選択	統合保健学研究方法特論	2								
		成人・高齢者保健学特論	2								
		成育地域保健学特論	2								
		地域保健学特論	2								
	小計		8	0	0	0	0	0	0	博士(保健学)の学位を取得するためには、2単位以上修得すること	
合計		40	0	0	0	0	0	0	2単位以上修得すること		
ア ・ ア ・ バ ン ス 教 育 科 目	医 学	選択	分子応答制御学特論Ⅱ	2							
		分子応答制御学演習Ⅱ	1								
		感染防御機構学特論Ⅱ	2								
		感染防御機構学演習Ⅱ	1								
		高次発生生物学特論Ⅱ	2								
		高次発生生物学演習Ⅱ	1								
		先端腫瘍学特論Ⅱ	2								
		先端腫瘍学演習Ⅱ	1								
		神経機能再生学特論	2								
		神経機能発達学特論	2								
	染色体医工学特論	2									
	染色体医工学演習	1									
	腫瘍生物応用医科学特論	2									
	腫瘍生物医科学演習	1									
	組織工学特論	2									
	組織工学演習	1									
	腫瘍治療学特論	2									
	腫瘍治療学演習	1									
	先進保健学統合演習	1									
	先進保健学探索演習	1									
小計		0	30	0	0	0	0	0	博士(医科学)の学位を取得するためには、1単位以上修得すること		
保 健 学	選択	成人・高齢者保健学統合演習	1								
		成人・高齢者保健学探索演習	1								
		成育地域保健学統合演習	1								
		成育地域保健学探索演習	1								
		地域保健学統合演習	1								
	地域保健学探索演習	1									
小計		6							博士(保健学)の学位を取得するためには、1単位以上修得すること		
合計		40	36	0	0	0	0	0	1単位以上を修得すること		
合計		40	36	0	0	0	0	0	5単位以上を修得すること		
特 別 研 究	必修	統合医科学特別研究	4								博士(医科学)の学位を取得するためには「統合医科学特別研究」4単位を、
		統合保健学特別研究	4								博士(保健学)の学位を取得するためには「統合保健学特別研究」4単位を修得すること
	小計		0	0	0	0	0	0	8	4単位以上修得すること	
総計		43	36	0	0	0	0	8	12単位以上修得すること		

注1 ◎はeラーニングコンテンツを利用する授業科目を表す。

注2 特別研究を除く授業科目について、履修年次は主任指導教員の許可を得て変更できるものとする。ただし、基盤的教育科目は1年次に履修することが望ましい。

注3 本専攻博士前期課程を経ずに本専攻博士後期課程に入学する者は、基礎医学知識の修得のため、本専攻博士前期課程「基盤的教育科目」の中の「実用的解剖学特論」、「実用的生理学特論」、「薬理学・薬物療法学特論」を単位外として入学前に受講することを原則とする。また、入学後は、本専攻博士前期課程科目である「基礎医学概論」を単位外として修得すること。ただし、出願時に提出された履歴書と成績証明書に記載の既修得科目により、本専攻博士前期課程で教授する基礎医学知識と同等の知識を既に身につけていると判断される者についてはこの限りではない。

医科学専攻博士前期課程 課程表							
科目区分	授業科目の名称	単位数				備考	
		1年次		2年次			
		前	後	前	後		
教育 基盤的 科目	必修	基礎医科学概論	1				
		④ 実用的解剖学特論	1				
		④ 実用的生理学特論	1				
		④ 薬理学・薬物療法特論	1				
		医療倫理学特論	1				
		医療安全学特論	1				
		知財戦略特論Ⅰ	1				
小計		7	0	0	0	7単位修得すること	
分野 横断的 科目	選択	知財戦略演習Ⅰ		1			
		腫瘍医療学特論		2			
		認知症予防学特論	2				
		地域医療システム学特論		1			
		◎ 病態生理学特論	2				令和4年度は不開講
		◎ 臨床薬理学特論	2				令和4年度は不開講
		医療統計解析学特論		2			
統計ソフトウェア演習		2					
ストレス医療学特論	2						
教育の原理と方法		2					
小計		8	10	0	0	1単位以上修得すること	
分野 横断的 科目 （ 医 学 専 門 家 養 成 科 目 ）	専 門 家 養 成 科 目 （ 医 学 専 門 家 養 成 科 目 ）	医療機器開発特論		2			
		分子神経科学特論	2				
		システム神経科学特論	2				
		細胞分化・老化機構学特論	2				
		細胞工学特論	2				
		遺伝子医科学特論	2				
		再生医科学特論	2				
		遺伝子再生医科学演習		2			
		再生医工学特論		2			
		再生医工学演習		2			
		遺伝子治療学特論	2				
		遺伝子治療学演習		2			
		細胞分子機構学特論	2				
		細胞分子機構学演習		2			
		免疫認識学特論	2				
		免疫認識学演習		2			
		発生生物学特論		2			
		発生生物学演習		2			
		実験腫瘍病理学特論		2			
		実験腫瘍病理学演習		2			
		神経病態・遺伝子疾患学特論	2				
		神経病態・遺伝子疾患学演習		2			
		病態細胞学特論	2				
		病態細胞学演習		2			
		病態制御学特論	2				
		病態制御学演習		2			
		生体機能・情報解析学特論	2				
		生体機能・情報解析学演習		2			
		環境科学特論	2				
		環境科学演習		2			
		認知症予防学演習		2			
		★ 基礎人類遺伝学特論Ⅰ	2				
		★ 基礎人類遺伝学特論Ⅱ		2			
		★ 基礎人類遺伝学演習Ⅰ	1				
		★ 基礎人類遺伝学演習Ⅱ		1			
★ 臨床遺伝学特論	1						
★ 臨床遺伝学演習		1					
★ 遺伝サービス情報学演習	1						
★ 遺伝医療と社会特論		1					
★ 遺伝医療と倫理演習		1					
★ 遺伝カウンセリング特論	2						
★ 遺伝カウンセリング演習Ⅰ		1					
★ 遺伝カウンセリング演習Ⅱ		1					
★ 遺伝カウンセリング実習Ⅰ		2					
★ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ			4				
小計		35	43	1	4	修士(医科学)の学位を取得するためには、8単位以上修得すること	
専 門 家 養 成 科 目 （ 保 健 学 ）	専 門 家 養 成 科 目 （ 保 健 学 ）	○ 看護管理学特論		2			
		○ 看護理論	2				
		生活機能看護学特論	2				
		生活機能看護学演習		2			
		成人看護学特論	2				
		成人看護学演習		2			
		高齢者看護学特論	2				
		高齢者看護学演習		2			
		地域母子看護学特論	2				
		地域母子看護学演習		2			
		成育看護学特論	2				
		成育看護学演習		2			
		統合支援看護学特論		2			
		統合支援看護学演習		2			
		精神保健学特論	2				
		精神保健学演習		2			
		○ 看護コンサルテーション特論	2				令和4年度は不開講
		○ 看護倫理学特論	2				令和4年度は不開講
		○ 看護学研究方法特論	2				令和4年度は不開講
		○ 看護教育学特論		2			令和4年度は不開講
		● フィジカルアセスメント特論	2				令和4年度は不開講
		● がん看護に関する病態生理学	2				令和4年度は不開講
		● がん看護に関する理論	2				令和4年度は不開講
		● がん治療支援に関わる看護援助論	2				令和4年度は不開講
		● 緩和ケア特論Ⅰ	2				令和4年度は不開講
		● 緩和ケア特論Ⅱ		2			令和4年度は不開講
		● 緩和ケア演習Ⅰ		2			令和4年度は不開講
● 緩和ケア演習Ⅱ		2			令和4年度は不開講		
● がん看護学実習Ⅰ		2			令和4年度は不開講		
● がん看護学実習Ⅱ		2			令和4年度は不開講		
● がん看護学実習Ⅲ			6				
小計		30	30	6	0	修士(保健学)の学位を取得するためには、8単位以上修得すること	
合計		73	83	7	4	13単位以上修得すること	
特別研究	必修	医科学特別研究		10			修士(医科学)の学位を取得するためには「医科学特別研究」10単位を、
		保健学特別研究		10			修士(保健学)の学位を取得するためには「保健学特別研究」10単位を修得すること
小計		0	0	0	20	10単位以上修得すること	
総計		80	83	7	24	30単位以上修得すること	

注1 ④はeラーニングコンテンツを利用する授業科目を表す。
 注2 特別研究を除く授業科目について、履修年次は主任指導教員の許可を得て変更できるものとする。ただし、基盤的教育科目は1年次に履修することが望ましい。
 注3 認定遺伝カウンセラー⑧の受験資格の取得を目指す学生については、★印の授業科目21単位を修得すること。
 注4 がん看護専門看護師の専門看護師教育課程の修了を目指す学生については、次の1.~2.を満たすように単位を修得すること。
 1. 分野横断的科目から◎印の授業科目を含め4単位以上を修得すること。
 2. ○印の授業科目から8単位以上、●印の授業科目の26単位、合計34単位以上を修得すること。

臨床心理学専攻修士課程 課程表					
科目区分	授業科目の名称	単位数		備考	
		前	後		
必修科目	医学概論	2			
	臨床心理学特論 I	2			
	臨床心理学特論 II		2		
	● 臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践)	2			
	臨床心理面接特論 II		2		
	● 臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)	2			
	臨床心理査定演習 II	2			
	臨床心理基礎実習	2		※1年次履修	
	● 臨床心理実習 I (心理実践実習 II)	5		※2年次履修	
	臨床心理実習 II	1		※2年次履修	
	臨床心理特別研究	8			
小計	6	24	30単位修得すること		
選択必修科目	A	臨床心理学研究法特論	2		
		心理統計法特論		2	
		小計	2	2	1科目2単位以上修得すること
	B	人格心理学特論		2	
		発達心理学特論	2		
		小計	2	2	1科目2単位以上修得すること
	C	人間関係学特論		2	
		家族心理学特論	2		
		● 臨床心理関連行政論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)		2	
	小計	2	4	1科目2単位以上修得すること	
	D	● 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2		
		心身医学特論		2	
		● 発達障害心理臨床特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)		2	
	小計	2	4	1科目2単位以上修得すること	
	E	グループアプローチ特論	2		
心理療法特論			2		
小計		2	2	1科目2単位以上修得すること	
選択科目	● 学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)		2		
	● 臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)		2		
	● 産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2			
	● ストレスマネジメント特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2			
	● 心理実践実習 I	2		※1年次履修	
	● 心理実践実習 III	1		※1年次履修	
	● 心理実践実習 IV	2		※2年次履修	
	◎ 生活習慣病への介入(#23)	1	1		
	◎ 脳機能解析学(#24)	1	1		
	◎ 地域医療への取り組み(#27)	1	1		
◎ 医療と心理臨床(#29)	1	1			
小計	8	13	2単位以上修得すること		
合計		24	51	42単位以上修得すること	

●: 公認心理師法施行規則(平成29年文部科学省・厚生労働省令第3号)第2条に規定する大学院における公認心理師となるために必要な科目。

◎: eラーニングコンテンツを利用する授業科目を表す。医学系研究科共通選択授業科目(7つの教育コース)の一部。

医学系研究科共通選択授業科目表(7つの教育コース)

コース	授業科目	単位数
医学研究基盤コース	医療倫理学 (#1)	1
	臨床医学研究基盤 I (#2)	1
	臨床医学研究基盤 II (#3)	1
	実験医学研究基盤 I (#4)	1
	実験医学研究基盤 II (#5)	1
遺伝子・再生・染色体工学コース	染色体と遺伝子 (#6)	1
	蛋白質、酵素、脂質と疾患 (#7)	1
	遺伝子再生医学と臨床応用 (#8)	1
	臨床の遺伝子再生医学 (#9)	1
臨床腫瘍医学コース	臨床腫瘍医学総論 I (#10)	1
	臨床腫瘍医学総論 II (#11)	1
	臨床腫瘍医学各論 I (#12)	1
	臨床腫瘍医学各論 II (#13)	1
	臨床腫瘍医学各論 III (#14)	1
	臨床腫瘍医学各論 IV (#15)	1
感染・免疫・アレルギーコース	免疫学概論 I (#16)	1
	免疫学概論 II (#17)	1
	感染症の基礎と臨床 (#18)	1
	アレルギー性疾患の基礎と臨床 (#19)	1
生活習慣病コース	生活習慣病の病態 I (#20)	1
	生活習慣病の病態 II (#21)	1
	生活習慣病の治療 (#22)	1
	生活習慣病への介入 (#23)	1
脳と心の医学コース	脳機能解析学 (#24)	1
	最近の精神神経疾患のトピックス I (#25)	1
	最近の精神神経疾患のトピックス II (#26)	1
	地域医療への取り組み (#27)	1
救急・急性期医療学コース	救急・急性期医療学 (#28)	1
臨床心理学専用コース ※臨床心理学専攻の学生以外履修不可	医療と心理臨床 (#29)	1